



TITLE:

<記事>2.臨海実習

AUTHOR(S):

---

CITATION:

<記事>2.臨海実習. 瀬戸臨海実験所年報 2001, 14: 2-3

ISSUE DATE:

2001-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/178996>

RIGHT:

## 1. 概 要

□平成12年度

### ◎職員等の移動

- ・ 吉岡正文事務掛長が附属病院管理課第二調度へ転出、清水事務主任が国立曾爾少年自然の家庶務課会計係長に昇任し転出、小西喜久男経理部経理課支出掛主任が掛長に昇任し着任、井上雅義事務官が医学部附属病院給与掛から着任(平成13年4月1日)。
- ・ 梶昭太氏・河村真理子氏が博士前期課程に入学(平成13年4月1日)。

### ◎行事・来訪者

- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(春季)(於北大学士会館, 東京), 白山義久所長出席(平成12年4月18日-4月19日)。
- ・ 共同研究者として M.H. Mona 氏(タンタ大学教授, エジプト)来日(7月1日-9月30日)。
- ・ 外来研究者として M.Z. Eva 氏(サザンプトン大学, 英国)来日(7月30日-8月20日)。
- ・ 公開臨海実習外国人講師として R.M. Kristensen 氏(コペンハーゲン大学教授, デンマーク)来日(9月25日-10月3日)。
- ・ 京都大学招へい外国人学者として Susetiono 氏(インドネシア科学院・海洋学研究開発センター副所長)来日(10月25日-11月10日)。
- ・ 京都大学招へい研究者として A.V. Adrianov 氏(ロシア科学アカデミー極東支所海洋生物学研究所研究主任, ロシア極東州立大学教授)来日(10月27日-平成13年5月12日)。
- ・ 日本学術振興会招へい外国人研究者として S.B.M. Long 氏(UNIMAS, マレーシア)来日(11月6日-11月16日)。
- ・ 国立大学臨海臨湖実験所長会議(秋季)及び国立大学臨海臨湖実験所公開臨海実習検討会(於筑波大学下田臨海実験センター, 静岡), 白山義久所長出席(11月7日-11月9日)。
- ・ 防火訓練実施(12月18日)。
- ・ 瀬戸臨海実験所年報13巻, Publication of the Seto Marine Biological Laboratory 第39巻1/2号発行(12月25日)。
- ・ 水族館休館(平成12年12月29日-平成13年1月3日)。
- ・ 水族館開館(1月4日)。
- ・ 拡大運営協議会(於瀬戸臨海実験所)(2月9日)。

## 2. 臨 海 実 習

□平成12年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学の臨海実習が下記の通り実施された。

(大学・実習科目・実習期間・受講学生数)

京都大学理学部生物系臨海実習 I	7/27-8/3	延	72人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 I	8/22-8/29	延	48人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 II*	3/23-3/29	延	70人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 III*	3/18-3/23	延	60人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 IV	8/22-8/29	延	72人・日
京都大学院人間環境学研究科海洋化学実習	7/21-7/24	延	96人・日
京都大学院人間環境学研究科生物学臨海実習	2/20-2/23	延	80人・日
京都大学総合人間学部自然環境学科環境分析論実習	7/17-7/20	延	56人・日
京都大学瀬戸臨海実験所公開臨海実習(大学院生対象)	9/26-10/3	延	32人・日
京都大学瀬戸臨海実験所公開臨海実習(学部生対象)	3/2-3/18	延	112人・日

和歌山大学教育学部生物学臨海実習(植物)	4/5-4/9	延	75人・日
大阪千代田短期大学磯観察実習	5/16-5/18	延	60人・日
奈良女子大学理学部生物科学臨海実習II	5/19-5/24	延	96人・日
奈良教育大学教育学部野外実習A-II(臨海実習)	5/30-6/4	延	72人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習(動物)	6/16-6/20	延	75人・日
大阪市立大学理学部臨海実習	6/27-7/3	延	147人・日
大阪教育大学教育学部教養成課程臨海実習	7/12-7/17	延	48人・日
滋賀県立大学環境科学部自然環境特別実習	7/17-7/20	延	52人・日
京都教育大学生物学教室生物学夏期実習II	8/3-8/7	延	70人・日
広島女学院大学生活科学部臨海観測実習	8/7-8/10	延	16人・日
大阪大学理学部生物学臨海実習	8/17-8/22	延	66人・日

\* 前年度末に実施

(計)	京都大学	8件	延	554人・日
	公開臨海実習	2件	延	144人・日
	他大学国立	7件	延	502人・日
	公立	2件	延	199人・日
	私立	2件	延	76人・日
(総計)		21件	延	1475人・日

○公開臨海実習(大学院生対象)は「無脊椎動物系統分類学」と題して実施し、千葉大学・東京大学・東京工業大学・琉球大学からの学生4名が受講した。

○公開臨海実習(学部生対象)は「無脊椎動物系統分類学」と題して実施し、北海道大学・埼玉大学・東京大学・東京工業大学・お茶の水女子大学・信州大学・神戸大学・広島大学・九州大学からの学生16名が受講した。

### 3. 研究会・来訪研究者

下記の研究会が開催された。

○「第8回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：Mohamed Hassan Mona (Tanta University) "Supplementary histological and SEM investigation of the branchial crown of *Protohydroides elegans* (Hoswell 1883) with consideration of its function and value for classification". (8月31日)

○「第9回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：R. M. Kristensen (University of Copenhagen) "Biology of Loricifera". (9月27日)

○「第10回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：R. M. Kristensen (University of Copenhagen) "Biology of Cyclophora, Discovery of a new class of invertebrates" (9月28日)

○「第11回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：Seb M. Shimeld (University of Reading) "Axial signalling and the evolution of dorsoventral pattern in neurectoderm and mesoderm"

J. Garcia-Fernandez (Barcelona University) "The amphioxus genome has both archetypal and derived features". (11月25日)